



# チャレンジ!一歩前へ

郡山市立橋小学校  
学校だより No.50  
令和7年 1月 9日  
文責:校長 酒井 健

## ◇学校評価…教育相談…、保護者の皆様のご意見・ご要望、ありがとうございました。

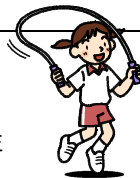
昨年末に行われました「学校評価(保護者の皆様)」や「教育相談」において、保護者の皆様方から伝えていただいたご意見・ご要望・ご指摘、本当にありがとうございました。保護者の皆様方の橋小学校に対する温かな想い、願いが感じられました。ご記入いただきましたこと、また、お話いただきましたことにつきましては、一つ一つ、全職員で共有をしながら、解決に向けて取り組んでまいります。

情報提供、開示が、重要視されている昨今であります。内容を吟味した上で、何らかの方法で、保護者の皆様にもご提示していきたいと考えております。たくさんの貴重なご意見やご指摘、また励ましの言葉をいただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 3学期の主な行事

### 1月

21日(火) なわとび記録会  
~23日(木) 低学年→中学年→高学年



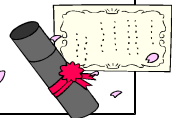
### 2月

4日(火) 新入生保護者説明会  
6日(木) 学年学級専門委員会  
21日(金) 授業参観日 懇談会  
お弁当の日



### 3月

7日(金) 6年生を送る会  
PTA役員会 会計監査  
13日(木) 卒業式予行  
14日(金) 美化活動 PTA常任委員会  
19日(水) 修了式〔1~5年生〕  
21日(金) 卒業証書授与式  
25日(火) 教室移動  
28日(金) 離任式



【訂正】学校だよりNo.49の中に訂正箇所がありました。HP掲載につきましては既に訂正いたしました。すみませんでした。教えていただきました保護者の方に御礼申し上げます。

## 校長のひとりごと

「拝啓 この手紙 読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう 十五の僕には 誰にも話せない悩みの種があるのです」・・・アンジェラ・アキの『手紙 ~十五の君へ~』有名な名曲ですね。

この歌には、次のような思い出があります。今から、15年ほど前、ある学校で教務主任をしていた時、卒業式の歌唱練習のために、小中連携をしていた中学校の音楽教師に、子どもたちに指導していただけないかお願いをしたのです。その教師は、教師の傍ら声楽家として様々な演奏会に出演している、すばらしい先生だったのです。本人に快く承諾していただき、校長先生にも伝え、小学校に来ていただくことになりました。その際に、こんなサプライズを考えました。

「なんか、卒業する子どもたちに、プレゼントしてくれない？」

「あっ、いいですね。じゃ、『手紙』の弾き語り なんてどうですか」

「タイムリーだね。それでいこう」(私が先輩でしたのでこんな口調・・・)

体育館での卒業生への歌唱指導が終わった後、「ちょっと、ピアノのまわりに集まって」と、卒業生たちを集めました。すると、その音楽教師は、この「手紙」をピアノを弾きながら、歌い始めました。

すばらしい、瞬間でした。12歳の子どもたちの心にも響いたのでしょう。涙を流す子どもたちもたくさんいました。子どもたちの後ろで一番泣いていたのは私でした・・・。とても感動したことを覚えています。



「今、負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は 誰の言葉を信じ 歩けばいいの  
ひとつしかない この胸が 何度もばらばらに割れて 苦しい中で 今を生きている 今を生きている」

小学生には、経験値の違いから、この心境にはなかなかたどり着けないとは思いましたが、子どもたちの心にはスーッと入り込んでいったのです。

話が長くなってしまいました。何が言いたかったのかということ、子どもたちは、様々な壁にぶつかり、様々な悩みをもち、そして様々な想いをもっているということです。私たち大人が、そんな子どもたちに対して、大切にしなければいけないのは、「子どもの心に寄り添うこと」「子どもの心境を感じ取ること」「子どもサイドに立って考えること」「どうしていいかわからない心に、そっと手を差し伸べてあげること」なんだと思います。まさに、負けそうで、泣きそうで、消えてしまいそうな心に語りかけることが必要だということです。これからも、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの心に、そっと語ってあげたいものです。